

ROBO-TV ツリービューア Ver.7 マルチモニター操作ガイド

(対象ツリービューア マルチライセンス Ver. 7.00.05 以降)



株式会社ディーグラット

2017年6月

(第1.0.0版)

この度は、ROBO-TV「ツリービューア マルチ」(以下、本ソフト)をご利用頂きまして、誠に有難うございます。
本ガイドは、本ソフトで 2 つのモニターを使用した「マルチ表示」に関する設定および操作方法について解説して
います。

必ずお読み下さい。

- 本ガイドの内容の全部または一部を、当社に無断で転載あるいは複製することは、固く禁じられています。
- 本ガイドに記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本ガイドでは、™、®、©等のマークは記載していません。
- 本ガイドの内容は、製品の改良等により、内容が実際と異なる場合があります、将来告知なく変更することがあります。
- 本ガイドの内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一わかりにくい点や記載もれ等、お気づきの点がございましたらご連絡下さい。
- 本製品を使用したことによるお客様の侵害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- 本製品の故障、誤作動、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信等の機器を逸したために生じた損害や万一、本製品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の纯粹経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- 本ガイドに他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。

株式会社 ディーグラット

<目次>

1 はじめに	5
1.1 本ガイドの目的	5
1.2 本ソフトの動作環境	5
1.3 定義	5
1.4 ツリービューアのマルチモニター機能とは	6
1.5 マルチモニターに必要なハードウェア	6
2 マルチモニターの事前設定	7
2.1 Windows7 の場合	7
2.2 Windows8 の場合	7
2.3 Windows10 の場合	8
3 ツリービューアの設定	9
3.1 マルチモニターの基本設定：ローカル設定のマルチ表示	9
3.2 プログラムモード設定について	10
3.3 起動時設定について	10
3.4 【ご注意】マルチモニター使用時のブロック表示機能の禁止	10
4 メイン+サブでのマルチ表示操作	11
4.1 メイン+サブのマルチ表示	11
4.1.1 概要説明	11
4.1.2 「このカメラに注目」機能	11
4.2 メインでのマルチ表示画面切替え、各種メニュー操作	12
4.3 サブ画面の切り替え	12
4.4 メイン+サブのフルスクリーン使用方法	13
4.5 巡回表示時の操作方法	14
4.5.1 巡回表示	14
4.5.2 巡回表示の停止とページ送り(戻し)操作	15
5 サブモニターのためのマルチ表示操作	16
5.1 サブのマルチ表示	16
5.1.1 概要説明	16
5.1.2 「このカメラに注目」機能	16
5.2 サブのみ時メインでのマルチ表示接続と切断、各種メニュー操作	17
5.3 サブ画面の切り替え	17
5.4 サブモニターでの操作	18

5.4.1	サブのみの時のフルスクリーンについて.....	18
5.4.2	サブモニターの操作	18
5.5	サブのみ巡回表示操作	18
6	ツリービューアでアラーム通知受信設定があるとき.....	19
7	【改定履歴】.....	20

1 はじめに

ツリービューマルチ(もしくはツリービューア 200にマルチライセンス追加版)で、ツリービューアをインストールしたPCに2台のモニターを接続して、それぞれのモニターに表示ができるようになりました(マルチモニター機能)。本ソフトを正しくお使い頂くため、ご使用前に必ずお読み下さい。

1.1 本ガイドの目的

本ガイドでは、「遠隔監視システム ツリービューア (以下「本ソフト」または「ツリービューア」と表記)」**マルチモニターの設定とマルチ表示の操作方法についてのみ**説明します。

ツリービューアの全般的な操作や機能については、「ツリービューア 200 操作ガイド」を参照してください。

1.2 本ソフトの動作環境

- 対応 OS: Windows 7、8、8.1、10
- CPU: 1.4GHz 以上 (10 台以上のカメラ同時マルチ表示の場合は Core 数複数以上推奨)
- メモリー: 1GB 以上 (表示カメラ台数が多い場合は、2GB 以上推奨)
- HDD: 空容量 1GB 以上(ただしダウンロードデータは除く。)
- モニター: 解像度 1280×800ドット以上
- その他: 本ソフトのインストール時に CD ドライブが必要となります。

1.3 定義

- 本ガイド中の**赤字による記載**は、ご注意すべき点について記載しています。
- **青字の記載**は、有効な方法や参考にすべき点について記載しています。
- 本ガイドは、ツリービューアの操作を主に説明しておりますが、一部録画サーバー側の設定にかかわる説明をあえて記載をしている箇所があります。その箇所については管理者権限が必要な為、**【管理者さまへ】**と注意を促しています。

本ガイドは本ソフトの複数のバージョンで使用するため、イメージ画像が説明箇所によって違う場合があります。

1.4 ツリービューアのマルチモニター機能とは

ツリービューアマルチ(もしくはツリービューア200にマルチライセンス追加版)で、ツリービューアをインストールしたPCに2台のモニターを接続して、それぞれのモニターにカメラ画像をマルチ表示する機能です。

本ガイドでは、ツリービューアのメインメニューが表示されているモニターをメインモニター(以下「メイン」と表記)、画像のみ表示するモニターをサブモニター(以下「サブ」と表記)とします。

ご注意: サブモニターはライブ画像表示(複数表示と一画面の切替は可能)のみです。ツリービューアの機能でいう「マルチ表示」のみです。操作などのメニューやボタンの表示は一切ありません。



- より多数のカメラ同時モニターが可能です。
- サブモニターでマルチ表示、メインでカメラ制御や過去画像再生等の操作という運用が可能です。

1.5 マルチモニターに必要なハードウェア

- 2つ以上の映像出力コネクタを実装したPC (Windows)
- 2台のモニター(ディスプレイ、2台とも同じ仕様が推奨)
- 2つのディスプレイ用映像ケーブル

ご注意: ツリービューアでマルチモニター表示しているときに、モニターをはずす等の環境の変更や、設定の変更を行わないようお願いします。ハードウェアの取り外しやモニターの設定変更を行う場合は、必ずツリービューアを終了して行ってください。

PCによっては、2つのモニターでの表示時は、単一モニター表示時よりパフォーマンスが低下する場合があります。

2 マルチモニターの事前設定

ハードウェアの準備が出来ましたら、各モニターと PC を接続し電源をいれます。各 OS のコントロールパネル等からディスプレイ設定で複数ディスプレイの設定を行ってください。

複数のディスプレイの項目で「表示画面を拡張する」を選択します。以下より例を記載します。

2.1 Windows7 の場合

コントロールパネルから「デスクトップのカスタマイズ」→「ディスプレイ」→「ディスプレイの設定変更」で右図の画面を表示します。

「複数のディスプレイ」項目で「表示画面を拡張する」を選択します。

デスクトップ画面右クリックの「画面の解像度」からでも可能です。



2.2 Windows8 の場合

コントロールパネルから「画面の解像度の調整」をクリックします。

(Windows 8.1 の場合は、コントロールパネル→「ディスプレイ」→「解像度の調整」の順にクリック。)

「画面の解像度」画面の「複数のディスプレイ」項目で「表示画面を拡張する」を選択します。

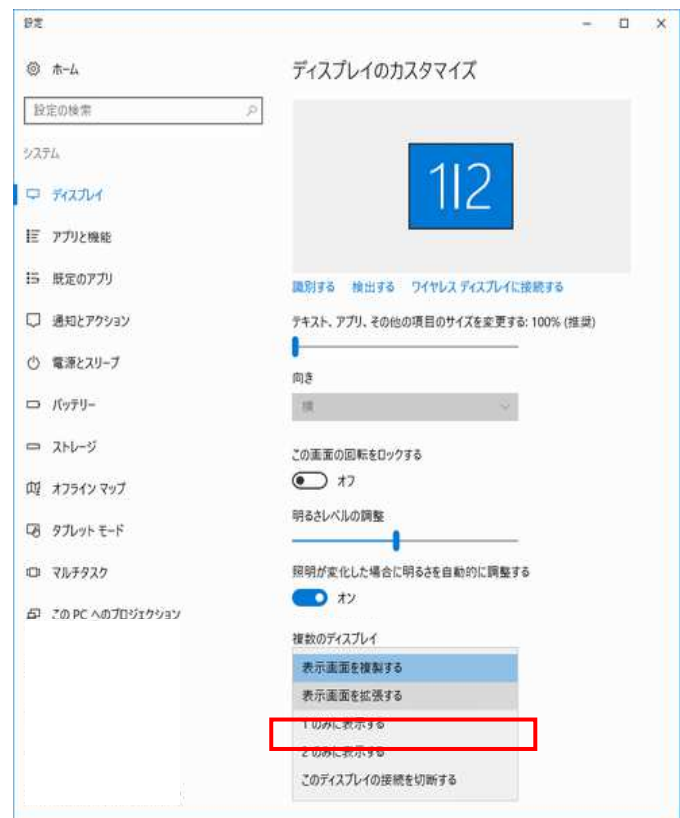


2.3 Windows10 の場合

デスクトップ画面を右クリックし、「ディスプレイ設定」を選択します。



「ディスプレイのカスタマイズ」画面を表示します。
「複数のディスプレイ」項目で「表示画面を拡張する」を選択します。



いずれの OS の場合も、どちらを 1 番目(メイン)モニターにするか、2 番目(サブ)モニターにするかは、任意で選択、設定をお願いします。解像度等についてもご使用しているモニターに合わせて調整をお願いします。

以上が完了しましたら、ツリービューアを起動しマルチモニターの設定を行います。

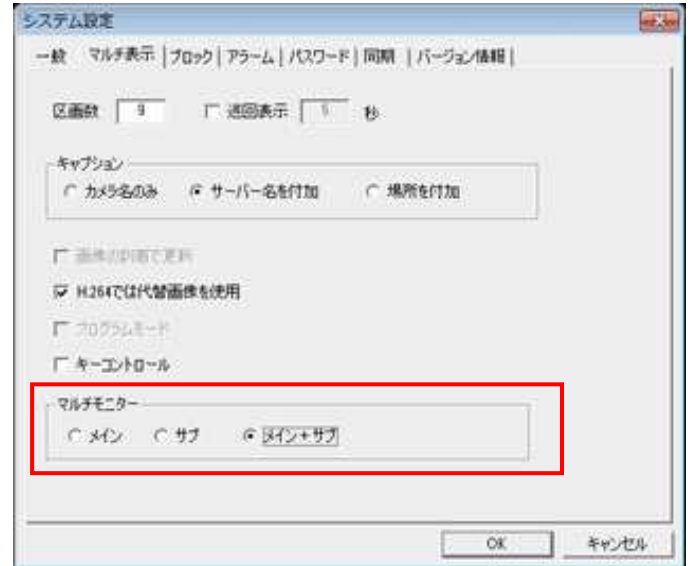
3 ツリービューアの設定

3.1 マルチモニターの基本設定：ローカル設定のマルチ表示

ツリービューアを起動し、メインメニューの「ローカル設定」をクリックし、「システム設定」画面を表示します。

メインメニューの「マルチ表示」を行うモニターを右図赤枠の「マルチモニター」項目で、メイン、サブ、メイン+サブから選択します。

マルチモニターの設定は以上です。



マルチ表示を行う場合の「区画数」と「巡回表示」の関係は、下表のようになります。

マルチモニター	区画数	巡回表示												
メイン	マルチ表示時、設定した区画数でメインにマルチ表示します。 マルチ表示メニューでチェックしたカメラの数が区画数より多い場合は、チェックの上位のカメラ画像を表示します。	メインモニターのみでマルチ表示巡回します。												
サブ	マルチ表示時、設定した区画数でサブモニターにマルチ表示します。 マルチ表示メニューでチェックしたカメラの数が区画数より多い場合は、チェックの上位のカメラ画像を表示します。	サブモニターのみでマルチ表示巡回します。												
メイン+サブ	マルチ表示メニューでチェックしたカメラの順序で、区画数分メインから表示します。 例えばカメラが 12 台あるときに、区画数を 6 とすると、1～6 をメインに、7～12 をサブに表示します。 この場合に、区画数を 9 とすると、メインに 1～9 を表示し残りをサブに表示します。 マルチ表示メニューでチェックしたカメラの数が区画数×2 より多い場合は、チェックの上位のカメラ画像をメインからサブに順番に表示します。	メインとサブの両方で巡回します。 ただし、左の区画数のルールが適用され、メイン、サブそれぞれに割り当てられた画面を巡回します。 例えばカメラが 20 台あり、4 区画で巡回すると以下のようになります。 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">メイン</td> <td style="text-align: center;">サブ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1～4</td> <td style="text-align: center;">5～8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9～12</td> <td style="text-align: center;">13～16</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">17～20</td> <td style="text-align: center;">5～8</td> </tr> </table>	メイン	サブ	1～4	5～8	↓	↓	9～12	13～16	↓	↓	17～20	5～8
メイン	サブ													
1～4	5～8													
↓	↓													
9～12	13～16													
↓	↓													
17～20	5～8													

3.2 プログラムモード設定について

ツリービューアのプログラムモード機能をマルチモニターで使用する場合、設定の方法は同じです。
詳細については、「ツリービューア操作ガイド」を参照してください。

プログラムモードの設定には、カメラの表示順のテキストファイル(スクリプト)「program.txt」を作成しますが、マルチモニター機能の「メイン+サブ」を使用するときは、スクリプトの各行をメイン、サブのモニターが交互に表示します。巡回設定のときは、それぞれのモニター毎に独立して行います。

スクリプトと表示の関係

スクリプトを作成した場合のマルチ表示のメイン、サブの表示は下図のようになります。

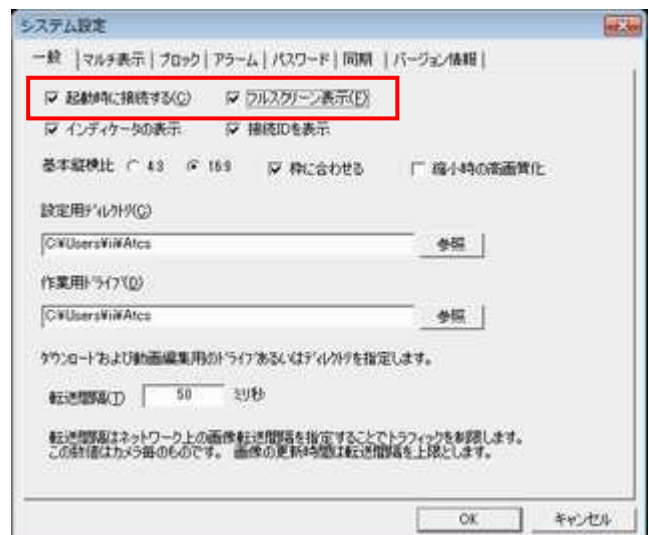
2001-1	2001-3	2001-5	2001-7	2001-9	2001-11	←	メインに表示
2002-1	2002-2	2002-3	2002-4	2002-5	2002-6	←	サブに表示
2001-2	2001-4	2001-6	2001-8	2001-10	2001-12	←	巡回時メインに表示(2ページ目)
2002-1	2002-2	2002-3	2002-4	2002-5	2002-6	←	巡回時サブに表示(2ページ目)

3.3 起動時設定について

起動時の設定も通常のツリービューアと同様です。

メインメニュー「ローカル設定」の「一般」タブ、右図赤枠の設定でマルチモニター起動時画像表示します。

- 起動時に接続するチェック
 - ・メイン+サブ選択時:両方のモニターに表示
 - ・サブ選択時:サブモニターに表示
- フルスクリーン表示チェック
 - ・メイン+サブ選択時:
両方のモニターにフルスクリーン表示
 - ・サブ選択時:サブモニターにフルスクリーン表示



3.4 【ご注意】マルチモニター使用時のブロック表示機能の禁止

マルチモニター使用時は、ツリービューアのブロック表示機能は使用しないで下さい。

4 メイン+サブでのマルチ表示操作

4.1 メイン+サブのマルチ表示

4.1.1 概要説明

メイン+サブの設定のときはマルチ表示すると下図のように、両方のモニターにカメラ画像をマルチ表示します。



メインメニューの「マルチ表示」で選択(チェック)しているカメラを上から順に、指定した「区画数」でメインから順番に表示します。

例えば、「マルチ表示」で選択しているカメラが 20 台あるときに、「区画数」設定を 10 にしている場合、「マルチ表示」メニューのカメラツリーの上から順に、1-10 番目をメインに、11-20 番目をサブに表示します。

このルールは、ツリービューアでモニターしている途中で切替えることはできません。上記の例で使用途中に 1-10 番目の画像をサブに表示するなどが出来ませんのでご注意ください。

4.1.2 「このカメラに注目」機能

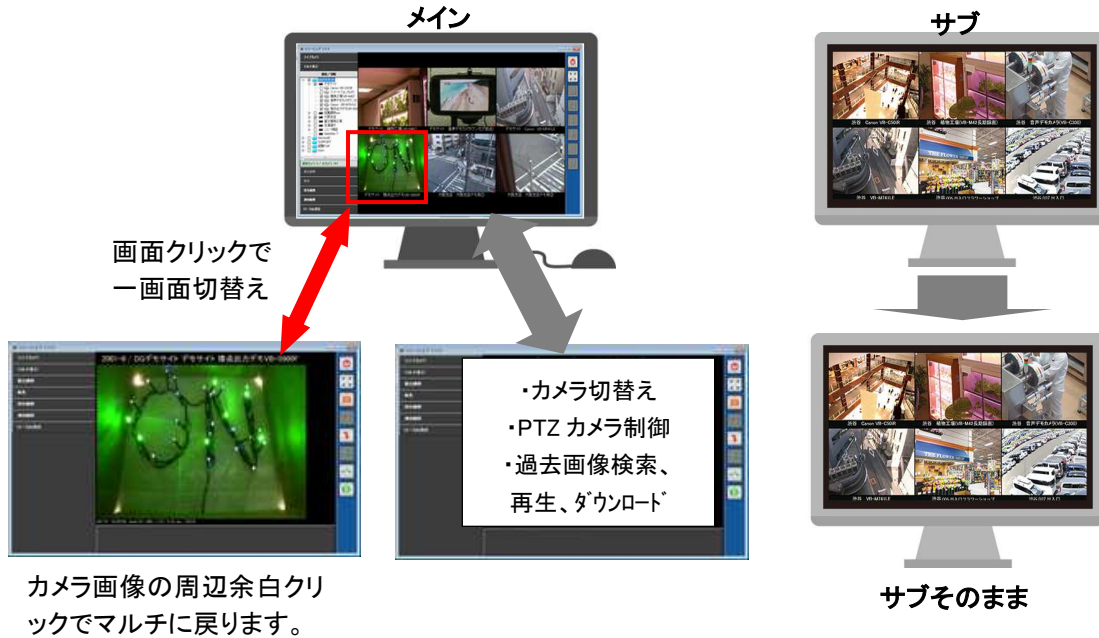
マルチ表示時に一つのカメラのみその他のカメラ画像の 4 倍に表示できる「このカメラに注目」機能を使用した場合、メインモニター側への表示となります。

ご注意: プログラムモード時はこの機能は使用できません。



4.2 メインでのマルチ表示画面切替え、各種メニュー操作

前項のとおり、ツリービューア操作はメイン側で行います。マルチ表示の一画面切替えや、過去画像の再生など別のメニュー操作もメインで行います。この時にサブには影響を与えません。



4.3 サブ画面の切り替え

メイン画面でマルチ表示のときに、サブ画面に表示しているカメラ画像をクリックすると、サブ、メイン画面に拡大表示します。メイン画面上でそのカメラ画像の操作が可能になります。

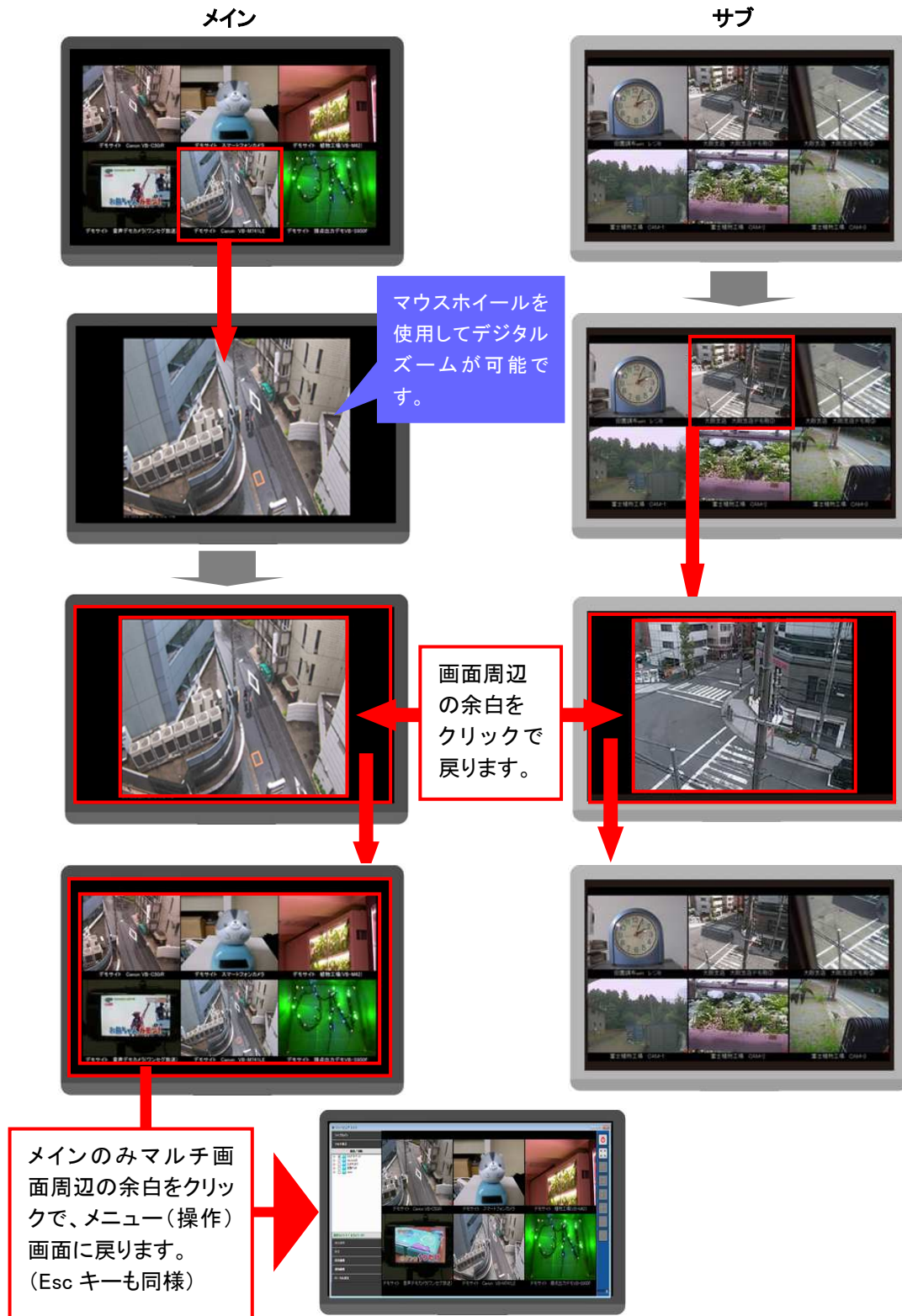


4.4 メイン+サブのフルスクリーン使用方法

フルスクリーン設定を行うと、メイン、サブともにフルスクリーン表示します。メイン、サブともに任意の画像をクリックすると、モニター上に一画面で拡大表示します。

この時、メインの画像はメインモニター上で、サブの画像はサブモニター上で拡大表示します。フルスクリーン時にサブの画像をクリックしてもメインモニター上へは表示しません。

一画面からマルチ表示に戻すときは、画像周辺の黒い部分をクリックで戻ります。

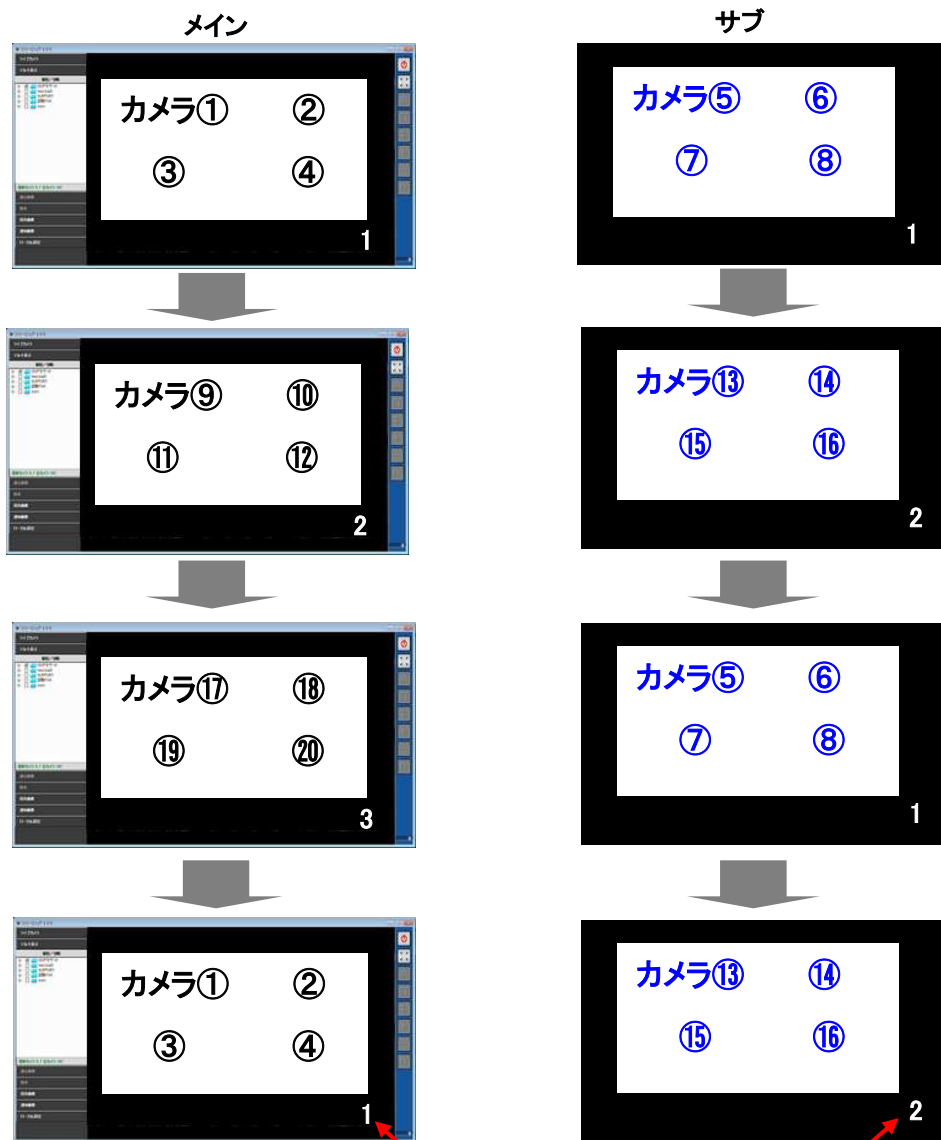


4.5 巡回表示時の操作方法

4.5.1 巡回表示

メイン、サブにマルチ表示で巡回表示の設定のときは、メイン、サブともにそれぞれに割り当てられた画像を巡回します。また巡回時には画面右下スミにページが表示されます。フルスクリーン表示も同じです。

例えばカメラが20台あり、4区画で巡回すると以下ようになります。



ご注意:この例のようにメインとサブで表示するページ数が異なる場合、メインとサブのページ数がずれていきます。

4.5.2 巡回表示の停止とページ送り(戻し)操作

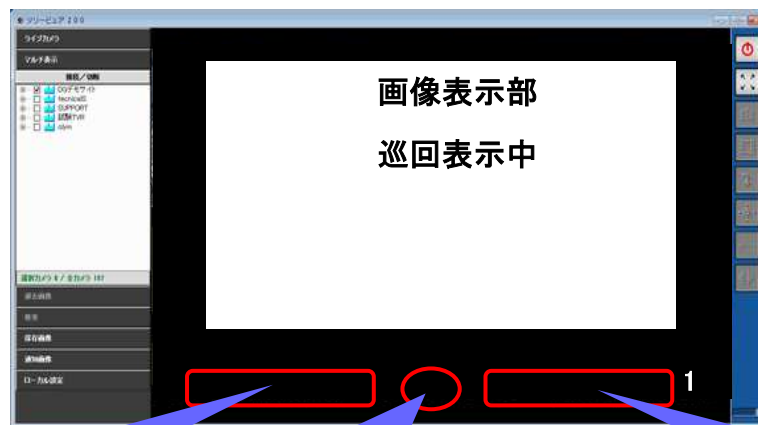
ツリービューA Ver7から巡回表示中のページ送り(戻し)操作と一時停止操作が可能です。

メイン、サブともにページを送ったり、戻したりすることが出来ます。

画面巡回中にすぐに見たい画像を選択できますので、大変便利です。

操作は、画像表示部の下の余白部分のクリック操作。下イメージ図の画像表示部の下の黒い部分(赤枠)をクリックします。メインモニターのみはキーボードのキー操作も可能です。

- 右側をクリック(キーボードの場合は「PageDown」キー。メインのみ。) ……ページを送る(ススム)。
- 左側をクリック(キーボードの場合は「PageUp」キー。メインのみ。) ……ページを戻す。
- 真中あたりをクリック(キーボードの場合は「End」キー。メインのみ。) ……一時停止(停止中はページの白文字が点滅します。)点滅中クリックで停止を解除し巡回にもどります。



巡回表示時に、このあたりをクリックすると、クリック毎にページを戻します。クリックした後、約 2 秒後にページの文字が点滅します。点滅中は巡回しません。

最初に真中をクリックすると、ページの文字が点滅し、巡回を停止します。ページの文字が点滅中の時にクリックすると巡回にもどります。

巡回表示時に、このあたりをクリックすると、クリック毎にページを送ります。クリックした後、約 2 秒後にページの文字が点滅します。点滅中は巡回しません。

この操作は、メイン、サブともに同じです。またフルスクリーンの場合も同様に使用できます。

ご注意:メイン、サブのマルチ表示時にこの操作を行うと、メインとサブで画面が切替わるタイミングがずれます。

メイン、サブそれぞれの巡回時間で画面を切替えますのでご注意願います。元に戻したい場合は、メインメニューの「マルチ表示」の「接続／切断」ボタンで、再度接続し直してください。

5 サブモニターのためのマルチ表示操作

5.1 サブのマルチ表示

5.1.1 概要説明

サブの設定のときはマルチ表示すると下図のように、サブモニターにカメラ画像をマルチ表示します。

サブモニターを公開用モニターとして、メインモニター側は操作用の画面にするといったタスクを分けた運用等に適しています。



メインメニューの「マルチ表示」の表示機能は全てサブのモニターへの表示となります。

メイン側が「マルチ表示」のときサブモニターで一つの画面を選択すると、拡大表示とともにメインモニターへも連動して表示します。メインモニターに表示させることで、画像の検索、再生、ダウンロードの操作を行うことができます(メインのライブカメラから選択しても同じ)。

ご注意: メイン側でライブカメラ選択している場合や、「マルチ表示」以外の別メニューで使用しているときは、サブモニターのカメラ選択連動はしません。

5.1.2 「このカメラに注目」機能

マルチ表示時に一つのカメラのみその他のカメラ画像の4倍に表示できる「このカメラに注目」機能を使用した場合、サブモニター側への表示となります。

ご注意: プログラムモード時はこの機能は使用できません。



5.2 サブのみ時メインでのマルチ表示接続と切断、各種メニュー操作

ツリービューアの操作はメイン側で行います。この時にサブには影響を与えません。

ただし、マルチ表示はメインに表示しません。「マルチ表示」の「接続／切断」ボタンをクリックするとサブモニターへの表示の「接続／切断」となります。



5.3 サブ画面の切り替え

メイン画面でマルチ表示のときに、サブ画面に表示しているカメラ画像をクリックすると、サブ、メイン画面に拡大表示します。メイン画面上でそのカメラ画像の操作が可能になります。



5.4 サブモニターでの操作

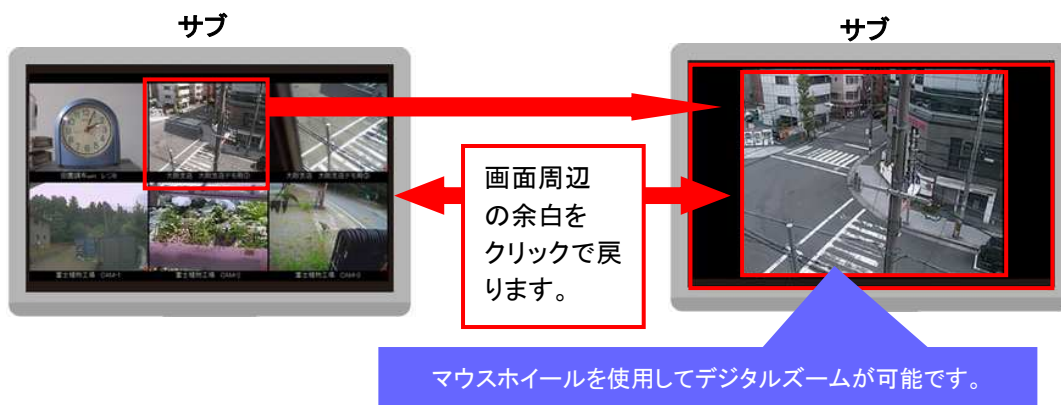
5.4.1 サブのみの時のフルスクリーンについて

サブのみマルチ表示の場合、メインにはマルチ表示がないのでメインでのマルチ表示のフルスクリーンは使用できません。

メインで何かのカメラ画像を表示させるとそのフルスクリーン表示が可能になります。

ツリービューアVer7の新機能で「ライブカメラ」メニューに「全表示」(指定した録画サーバーに接続しているカメラ全てのライブ表示機能)を使用して、マルチ様のフルスクリーンは可能です。

5.4.2 サブモニターの操作



5.5 サブのみ巡回表示操作

操作は、画像表示部の下の余白部分のクリック操作で行います。下イメージ図の画像表示部の下の黒い部分(赤枠)をクリックします。

- 右側をクリック……ページを送る(ススム)。
- 左側をクリック……ページを戻す。
- 真中あたりをクリック……一時停止(停止中はページの白文字が点滅します。)点滅中クリックで停止を解除し巡回にもどります。



巡回表示時に、このあたりをクリックすると、クリック毎にページを戻します。クリックした後、約 2 秒後にページの文字が点滅します。点滅中は巡回しません。

最初に真中をクリックすると、ページの文字が点滅し、巡回を停止します。ページの文字が点滅中の時にクリックすると巡回にもどります。

巡回表示時に、このあたりをクリックすると、クリック毎にページを送ります。クリックした後、約 2 秒後にページの文字が点滅します。点滅中は巡回しません。

6 ツリービューアでアラーム通知受信設定があるとき

メイン+サブ、またはサブのみのマルチモニター使用時で、センサーや画像変化などのイベント通知を受け取る設定をおこなっている場合に、「通知カメラの拡大表示」や「メッセージポップアップ」については、全てメイン側に表示されます。



以上

7 【改定履歴】

・2017年6月 初版

著作
株式会社ディーグラット

《本社》
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 6-23-2 第25SYビル 5F
TEL:03-5467-4786 FAX:03-5467-4784
<http://www.d-glatt.co.jp>